



どうとくだより

富陽小学校

2026.2



今回のどうとくだよりは、1年生の実践を紹介します。

教材名は、「ぼくにもあるかな」です。主人公のちゅうたは、自分にはよいところがないと悩んでしまいます。そんな時、両親から自分のよさを教えてもらい、元気になります。授業の初めに、自分にどんなよいところがあるか子供たちに聞いたところ、ちゅうたと同じように自分のよいところがわからない子が多かったです。授業を通して、「自分や友達のよいところが分かった」「これからよいところを見つけていきたい」「自分のよいところをおうちの人に聞いてみたい」など振り返ることができました。

教材名『ぼくにもあるかな』

【あらすじ】

ちゅうたの友達のちよろすけは、元気にあいさつをする子です。また、はつかは、優しい子です。ちゅうたは、友達にはよいところがあるのに、自分にはよいところがないと悩みます。そんなちゅうたを見て、お父さんは「悩んだり考えたりすることが大切だよ。」と話し、お母さんは「よいところがない子なんていない。友達のよいところ分かるのはとってもよいところね。」と言ってくれました。その言葉を聞いて、ちゅうたは元気になりました。

【授業のねらい】

自分にも友達にも、それぞれのよさがあることに気付き、自分や友達のよいところをもっと知ろうとする実践意欲を育てる。





学習後のふり返し

自分のよいところは、最後まであきらめないところです。もっと伸ばすために、チャレンジしたり、最後まで書いたりすることをがんばりたいです。

これからみんなのよいところと自分のよいところを探します。

わたしがちゅうただったら、ちゃんと考えていいことを続けます。どうしてかという、だれでもよいところがあるからです。

わたしは算数が得意です。そして友達のよいところにも気づきました。友達のよいところは、やさしくて手伝ってくれるところです。

ぼくのよいところは、しっかり勉強することです。頭をよくして、先生になりたいです。

わたしはこの勉強で、自分に自信を持ったことがあります。それは給食を残さず食べることです。

ちゅうたは、最初はよいところがなかったのでお母さんに聞いてみて、見つかったから良かったなと思いました。自分もよいところをお母さんに聞いてみたいなと思いました。

今日の勉強で、友達のよいところを見つけることは、いいことなんだなと思いました。

ちよろすけとはつかもよいところがあることに気づけるちゅうたがいいなと思いました。

いつもはちょっとしかみんなのよいところを見つけられなかったけど、「ぼくにもあるかな」の勉強で、みんなのよいところをもっと見つけたいなと思いました。

ちゅうたがいい人を見つけるのがすごいなと思いました。自分も人のよいところを見つけないです。

わたしは、最初は自分によりところがあるか分かりませんでした。今日の勉強でわたしにもよいところがあると思いました。わたしのよいところは、たぶんはつかと同じようにやさしいことだと思います。これからもみんなにやさしくしたいです。もっとよいところがあるかは、お父さんお母さんに聞いてみます。

友達のよいところを見つけることができるちゅうたがすごいと思いました。わたしのよいところをさがしてみたいとおもいました。

ちゅうたと同じで苦手なことがあるけど、今日帰ってからお母さんによりところを教えてくださいます。

ぼくもちゅうたみたいに、人のよいところを見つけないです。ちゅうたもちよろすけもはつかもよいところがあっていいお話だとおもいました。

ちゅうたみたいに友達のよいところを見つけないなと思いました。これからも自分のよいところを見つけないです。